

「元気山口 新たな歩み」

山口市長 伊藤 和貴



新年明けましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎え、皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症への対応やコロナ禍における原油価格・物価高騰等により、市民生活や地域経済に大きな影響が生じました。

こうした中、山口商工会議所におかれましては、市内事業者の皆様の声を取りまとめられるとともに、市内消費喚起に向けた『「エール!やまぐち」プレミアム共通商品券』の発行、市内事業者の皆様への各種支援策の情報発信や経営改善に向けた経営相談など、きめ細やかな御対応をいただき、心から感謝申し上げます。

また、本市におきましては、第二次山口市総合計画前期基本計画の最終年度として、重点プロジェクトの総仕上げに向けた取組を進めたところでございまして、第3期山口市中心市街地活性化基本計画に基づく中心市街地の活性化、山口市産業交流拠点施設「KDDI維新ホール」の積極的な活用、中小企業の皆様の経営安定化や人材確保への支援、起業創業支援など、本市の地方創生に向けた取組を会議所会員の皆様を始め、多くの市民の皆様のお協力のもとで進めることができました。重ねてお礼申し上げます。

こうした中で、迎える本年におきましては、第二次山口市総合計画後期基本計画のスタートの年となりますことから、後期基本計画の推進の方向性である『「ずっと元気な山口」の実現 ～誰もが活躍し まちもひとも 今も未来も 元気な山口に～』のもと、まずは、依然として続く物価高騰等の影響から市民の皆様のお暮らしや雇用、地域経済を守り抜き、元気を取り戻すため、事業者や生活者の皆様へのきめ細やかな支援を図り、社会経済活動を支えていく取組を全力で進めてまいります。

その上で、「農山村と都市が共存共栄するまちづくり」として、新市発足以降の本市の都市政策の柱である「広域県央中核都市づくり」と「個性と安心の21地域づくり」を一体的に進めてまいります。

「広域県央中核都市づくり」として、小郡都市核づくりでは、引き続き、産業交流拠点施設等における山口商工会議所を始めとした関係機関との連携のもとでのビジネス支援を進めるとともに、新山口駅を中心に、JR山口線の利用促進などの広域ネットワークの強化に向けた取組などを進めてまいります。また、山口都市核づくりでは、新本庁舎の建替え整備、中心市街地活性化の取組、湯田温泉ゾーンの再生整備など、新市における一連の社会基盤整備に係る重点プロジェクトを本格的に進めるとともに、

新たに、中園町周辺におけるJR山口線の新駅の検討などを進めてまいります。さらに、交流人口の回復に向けて、新たな旅行形態や観光需要に対応した情報発信の充実、インバウンド観光誘客に向けた受入れ環境づくり、MICE等の誘致促進に向けた取組などを進めてまいります。

また、「個性と安心の21地域づくり」として、協働によるまちづくりのもとで、地域交流センターを中心とした日常生活圏の維持・確保を図るとともに、農山村エリアの転出超過ゼロに向けて、農山村エリアにおける起業創業支援や、移住・定住促進の強化、道の駅の移転新設・機能強化などを進めてまいります。

こうした取組とあわせて、商工業・サービス業の活性化に向けて、中小企業の皆様の生産性向上に向けた支援とともに、若者の地元雇用の促進や多様な働き方への対応支援、関係機関との連携のもとでの産業人材の育成などの取組を進めてまいります。

また、「今の市民生活を豊かにし、安心して元気に暮らせるまちづくり」として、あらゆる施策分野におきまして、環境の変化に対応し、安心して元気に暮らすことのできるまちづくりを進めてまいります。

こうした新市発足以降のまちづくりと今の市民生活を豊かにするまちづくりを引き続き進めるとともに、新たなまちづくりの方向性として、「未来に向けたチャレンジを支えるまちづくり」を進めることとし、事業者や地域、市民などの皆様の未来に向けたチャレンジを、大学や山口商工会議所を始めとした多くの関係者や行政との連携のもとで支え、地域課題の解決や地域経済の活性化を図ってまいります。

そして、こうしたまちづくりを支える基盤として、人材育成(HX:ヒューマンTRANSフォーメーション)、デジタル化(DX:デジタルTRANSフォーメーション)、地域脱炭素(GX:グリーンTRANSフォーメーション)の3つのTRANSフォーメーションを一体的に推進していくこととし、大学を始めとした多くの高等教育機関が集積している特性を生かした学都山口のまちづくり連携や、スマートシティの取組、地域脱炭素の取組を通じた中心商店街の活性化などを進めてまいります。

こうした方向性のもと、本年を「元気山口 新たな歩み」の年と位置付けまして、「ずっと元気な山口」の実現を目指し、新たなまちづくりの歩みを進め始めてまいりたいと考えております。引き続き、経済界の皆様のお理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして、幸多い年となりますことを祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。